

Keyword: 「児童労働」「パーム油」「インドネシア」「飢餓」

1. はじめに

児童労働に従事している5歳から17歳の子供は2022時点で約1億6000万人いると言われている（日本ユニセフ協会より）。上記背景の中で、私たちは一年次に学習したパーム油の生産過程に起こる児童労働について探究することにした。米国労働省により2018年に発表された児童労働または強制労働によって生産されたリストより、マレーシアでは児童労働や強制労働、インドネシアでは児童労働のリスクがある商品としてパーム油は指定されている。それより私達は、私達の、日常生活に欠かせないパーム油の生産過程で起こりうる児童労働に対して何らかの対策をしなければならないと考えた。

2. 序論

まず、パーム油とは、アブラヤシから採取できる植物油であり日本では年間約80万トン消費されている。高い汎用性と大量収穫の利点により、パーム油は植物油の中でも世界的な需要が高い。しかし、アブラヤシは熱帯地域で成長するため収穫可能な地域が限定され、一部の熱帯地域、例えばインドネシアやマレーシアで大規模なプランテーション開発が進み、熱帯雨林の伐採による生物多様性の危機や労働問題への懸念など沢山の問題が起こっている。

パーム油は私達の日常生活に欠かせないもの（シャンプー、リンス、歯磨き粉、化粧品、冷凍食品、加工食品、植物油など）に含まれている。その商品類を生産するために、住処を奪われる動物がいて、厳しい労働条件下で働く人がいるかもしれない。その現状を社会に生きる私達は知る必要があり、広めていく必要があると考えた。

そのため、一年次に行ったパーム油の探究活動で得たアンケート（図3）を元に「情報を発信することで意識の向上を図ることができるのではないか」と考え、情報発信を主とした探求活動を行った。

情報発信を行うターゲットとして、これからの社会を担う幼少期の子ども達に焦点を当て、近隣の小学校にてパーム油とパーム油の生産過程において起こる児童労働を含んだ問題についてのクイズ大会を行った。また、クイズの内容（図2）を紙絵本にして家でも見返せるようにした。クイズ大会（図1）では、パーム油生産の過程で熱帯雨林が伐採されたボルネオ島を題材にした。クイズ大会を行った後、19名にアンケート調査を行ったところ、全員がパーム油について知ることができたと答えた。よって、情報発信をすることで、人々の認識を高めることができることが分かった。



図1 クイズ大会



図2 クイズ大会の内容一部

そして参加した小学生22名の内、19名にパーム油について知ることができたかというアンケートを行った。

3. 本論

一年次にパーム油の生産過程で起こる問題についてまとめた資料を作成し、Instagramや近隣の中学校に掲載させていただいた。その資料を読んだ方のアンケート結果（図3）より情報発信をすることで、資料を読んだ人の関心を高めることができることが分かった。このことから、情報発信は問題解決を目的とした世間的な活動の流れを作るのに有効的な方法であると考えた。

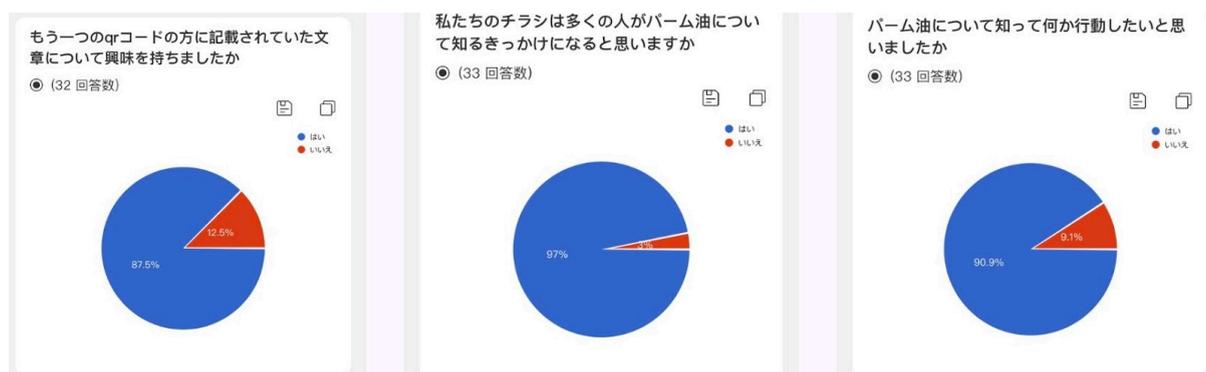


図3

4. 結論

一年次に行ったアンケート調査より、情報発信を中心とした調査を行ってきた。そして、情報発信の有効性を小学生に行ったアンケート調査を通して確認した。また、情報発信を行うことで社会全体の意識を高め、全体的な支援の体制につながる可能性があると考えた。

今後の課題として、探究を始める前に挙げていた飢餓というキーワードを関連付けてより深い探究を行うこと。そして、情報発信のみでなく、現地への直接的で具体的な支援の政策を勘案し、実行していく必要があることが挙げられる。また、探究の続きとしては、クイズ大会後に配布した紙絵本の効果を確認するための調査を行いたいと考えている。調査内容として、紙絵本を見返す頻度や、その内容の理解度を調査したいと考えている。

5. 参考文献・出典

ACE. "児童労働入門講座".

<https://acejapan.org/childlabour/entrance#:~:text=%E3%80%8C%E5%85%90%E7%AB%A5%E5%8A%B4%E5%83%8D%EF%BC%88Child%20Labour%EF%BC%89,%E5%85%90%E7%AB%A5%E5%8A%B4%E5%83%8D%E3%80%8D%E3%81%A8%E3%81%97%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82>, (2023)

日本ユニセフ協会. "子供の保護". 2022-02.

https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_act04_02.html#:~:text=%E4%B8%96%E7%95%8C%E3%81%AB%E3%81%AF%E3%80%81%E6%9C%89%E7%B5%A6%E3%80%81%E7%84%A1%E7%B5%A6,%E3%81%AF9%2C700%E4%B8%87%E4%BA%BA%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82, (2023)

認定NPO法人ボルネオトラストジャパン. "2022パーム油白書". 2021-02.

<https://www.bctj.jp/2017/wp-content/uploads/2022/02/pamlWP2020.pdf>, (2023)

Amnesty International. "パーム油に潜むスキャンダル". 2016.

https://www.amnesty.or.jp/library/report/pdf/palm_oil_201702.pdf, (2023)

サラヤ株式会社. "RSPO認証 | 環境への取り組み | サステナビリティ".

<https://www.saraya.com/csr/env/rspo.html>, (2023)

熱帯林行動ネットワーク (JATAN). "パーム油調達ガイド".

https://palmoilguide.info/issue_of_fit/fit_labor_issues, (2023)